

平成26年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 58

学校名 千葉県立柏の葉高等学校

課程名 全日制

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	<p>1 あらゆる機会を捉えて学校を公開し、地域に開かれた、信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>2 内部評価及び外部評価を積極的にを行い、学校運営の改善を行う。</p> <p>3 職員研修を充実する</p>	<p>① 毎日、<u>ホームページの更新</u>を行い、最新の情報を提供するとともに年1回ミニ集会、年3回開かれた学校づくり委員会を開催する。</p> <p>② <u>1, 2学期に内部評価, 1学期末に授業評価をアンケート形式で実施し, 結果に基づき改善を図る。</u>またアンケート項目精選を図る。開かれた学校づくり委員会に<u>外部評価実施</u>を依頼する。</p> <p>③ 積極的に外部講師を活用し、組織的・計画的に実施する。</p>	<p>① ホームページの更新状況の確認及び広報紙の発行部数</p> <p>② 職員・生徒・保護者アンケートの結果及び結果に基づく改善状況及び開かれた学校づくり委員会の外部評価</p> <p>③ 研修の参加状況及びアンケートの結果</p>
学習指導	<p>1 生徒一人一人の学力を把握し、指導内容の精選と指導方法の改善を図る。</p> <p>2 生徒が意欲的、計画的に学習に取り組めるように支援する。</p>	<p>① 生徒個々の様々な学習状況や学習成績等をデータ化し、指導に最大限活用する。</p> <p>② <u>課外補習</u>や補講を昨年度より増やす。</p> <p>③ 若手教員研修チームを中心として授業研究を実施し、<u>授業力向上</u>を図る。</p>	<p>① データ化した学習状況・学習成績等の活用状況</p> <p>② 課外補習や補講の実施状況</p> <p>③ 若手教員研修会の実施状況</p>
生徒指導	<p>1 基本的な生活習慣と規範意識の確立を図り、社会性の育成に努める。</p> <p>2 学校教育相談体制を充実させ、個々の生徒に対応した、きめ細かな指導・援助を図る。</p>	<p>① 各学期毎に<u>生活指導週間</u>を設け、<u>頭髪・服装指導</u>、<u>遅刻指導</u>及び<u>自転車乗車マナー指導</u>を行う。</p> <p>② <u>教育相談窓口の周知徹底</u>を図るとともに、保護者、関係機関、学校間と連携を強化する。また、調査等適切に実施実態を把握する。</p>	<p>① 指導記録の確認 遅刻者の人数を前年比20%減を目標とする。</p> <p>② 教育相談窓口の周知率</p>
キャリア教育	<p>1 体験活動の充実を図り、職業観・勤労観の育成を図る。</p> <p>2 生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する能力・態度の育成を図る。</p>	<p>① 夏季休業中に希望者を対象にインターンシップ、<u>算数教室 AT</u>などを実施する。</p> <p>② 総合的な学習の時間に計画的なキャリアガイダンスを実施する。</p> <p>③ <u>大学との連携授業</u>を充実する。</p>	<p>① 実施報告書の確認</p> <p>② 年間計画の作成と実施状況</p> <p>③ 連携授業の実施状況</p>
特色ある教育活動	<p>1 グローバルな視点を持つ人材の育成、国際的視野の涵養、留学機運の醸成のために、地域の人材を活用した国際理解教育を推進する。</p> <p>2 近隣の大学・企業と連携した教育プログラムの実施を図る。</p>	<p>① 地域の大学等と連携を図り、「<u>国際理解交流会</u>」を実施する。また、<u>生徒海外研修</u>を実施する。</p> <p>② 高大連携協定締結校を中心とした、<u>外部連携授業</u>、東京情報大学と連携した教育フォーラム、千葉大学と連携した植物工場プロジェクトを実施する。</p>	<p>① 「国際理解交流会」の開催回数と参加状況、海外研修の実施状況。</p> <p>② 外部連携授業の実施状況、教育フォーラム及び植物工場プロジェクトの実施状況。</p>